第５回室戸市統合中学校あり方検討委員会議事録（概要）

日　　時　　令和６年１０月３１日（木）１９：００～１９：５０

場　　所　　室戸市役所２階第１会議室

出席委員　　小松伸稔委員長、手島泰副委員長、小松武志委員、萩野慎人委員、
谷渕隆二委員、松尾拓哉委員、中屋康一郎委員、北川弘美委員、
黒岩文弥委員、中原洋人委員、上田摩美委員、杉本優委員、
作田将基委員、勝田真也委員、西本啓純委員、井口司委員、
京田ひとみ委員、町田幸寛委員、石建結香委員、森岡美和委員　計２０名
欠席委員　　松吉由季委員、貝川和嗣委員、中村幸奨委員、岡田茂委員　計　４名
事 務 局　　百田教育長、山本教育次長兼学校教育課長、
祝学校教育課長補佐、髙﨑学校教育課班長　　計４名

議　　題　　⑴　統合中学校整備に関する９月室戸市定例会における採決結果について

議事録（概要）

１．開会

２．議題

⑴　統合中学校整備に関する９月室戸市定例会における採決結果について

事務局説明 （学校教育課長）	**統合中学校整備に関する９月室戸市定例会における採決結果について** **資料　第５回資料１、今後の対応について** 資料１、１０月３日に一般会計補正予算に対する修正動議が６名の署名議員により出された。１２節委託料として、統合中学校整備事業家屋事前調査委託料８０３万円、１４節工事請負費として統合中学校用地作業道路設置工事費３，８４９万円の予算を削除するという内容。 予算削除の理由は、室戸高校の共用について県教委と協議するよう求める趣旨。 賛成７、反対４で可決された。 議会での結果を受け、これまで進めてきた新築移転は、一旦立ち止まって、室戸高校が共用できるのかの協議を県教委とする必要があると考えている。 今後の対応については、当面、県教委との協議を進めていく。これまで、１０月８日、１０月１５日に協議。１０月１５日の第２回では、県教委からは、今以上の提案はないとの回答有。１１月７日の第３回は市教委、教育委員の他にあり方検討委員会からも３名参加いただき、直接、室戸高校において、県教委提案の北舎４階の状況や使える施設を見させていただき、県教委側と意見交換を行う予定。

	現地視察を踏まえ、市の教育委員会で協議し、市の方向性を決定。その後、県の教育委員会へ報告予定。その後、議員説明会を開催し、市議会議員へ説明をしたい。日程は、現時点では未定。 今回、新聞等で報道されたことにより、市民の多くが室戸高校が使えるとの考えを持たれたと思うので、結果をホームページと広報で周知したい。 市の教育委員会で考えているのは、今の県教委の内容では、協議をしたうえでも、統合中学校が室戸高校に入るのは難しいと考えており、方向性としたら、新築移転の方向になるのではと考えている。
委員長	市民としますと、１０月４日の新聞でびっくりという方もいたと思うが、振り返ってみれば、令和３年４年から室戸高校の共用の話し合いがなされて、一旦話がついているはずだが、結局こんなことになっている。何か意見等ありましたらお願いします。
質疑応答	
委員	１１月７日は、教育委員は全員行くのか。
学校教育課長	４名のうち３名参加予定。
委員	６月に県議等から協議があった段階で、なぜストップできなかったのかの疑問が出てくるので、しっかり説明をしないとトップの信用にかかわる。遡ってしっかり議論ができていればこんなにならなかったのでは、現状こうなってしまった以上言われても仕方ない。しっかり今後議論できるような状態で進めてもらわないとまたこんな風になるのではと思うのでしっかり議論をお願いする。 一部の議員が言っている室戸中学校そのまま置くという話、そっちもこれからややこしくなると思う。いろんな市民いるので、子どものこと考えなかったら予算減るからそっちの方が良いという意見もでてくるので、しっかり議論して、保護者や教職員の意見をとりまとめて対応できるようにしてもらいたい。
委員	議員が言っている市の負担額が４億円の財政負担が軽減されるという点、目先で見ると４億円負担減になるかもしれないが、近い将来室戸高校も新築に変えないといけないくらい古い建物。先を見た時に、その負担をどういう風に振り分けするのかも考えての意見なのか不思議。室戸市内にある中学校より室戸高校は建物自体古い。中を知っている人は、室高もあちこち改修しないといけない状態に中学生入れて大丈夫？との意見をいくつか聞いている。一番の疑問。 今負担減になっても近い将来それと同じくらいの負担をしないといけないなら、はっきり言って、今新築に変えた方が良い。負担減を考えているなら、小中高台にあるところに町単位でそれぞれ移転した方が、負担自体は少なくなるのではというのが保護者としての意見。
委員長	室戸高校の建替え等について協議はしているか。
学校教育課長	していない。
委員	市民の多くの方が、そんなにお金かけなくてもとなるので、市民への周知が大事になる。裾野を広げて皆で新しい中学校が欲しいとならないといけない。核となるのが、この委員会と思っている。
学校教育課長	市の教育委員会としては、令和３年当時には室高の共用については、協議をして終わっているという認識。この状況になった以上、今回の協議をしっかりやって、それを十分議員、市民にもしっかり説明して、今後、再度出てこないようなしっかりした協議と説明を果たしていきたい。

委員長	振り返れば色々あるが、過去の決まりごとにこだわらず、多くの方に納得し、了解してもらえるような手順を踏んでいきたいと行政の考え方。
委員	市長は、６月のタイミングで過去の経緯も知ったうえで、この発言があったとなると何を目的としているのかもブレている。今後、一回出直しになるのであれば、もう一度、お金が大事なのか、安全性、子どもの育つ未来像が大事なのか、そういうところをもう一回しっかりと揉んだうえで、市長の中でも優先順位が何かというところをしっかりしてもらったうえで、進めてもらえばいいのではと思う。
委員	前回（R3.4）室高に視察に行った人と今回行く人は同じか。前回を知っている人が行った方が過去のことも分かるし、責任も感じるので良い。
事務局	前回行った者も複数いる。
委員長	本日の意見は、言いっぱなしではなく、きちんと事務局で受け止めて、対応してくれるものと思っている。
委員	以前、統合の話の時、教育長は、政治的なことは、持ち込まないと言っていたが、今回は、議会軽視にならないように行政は動かないといけない。議会とか議員に今後、振り回されるようなことになれば、親も不安ではないかと思う。立場も難しいと思うが、以前佐喜浜の会で教育長も「市長は関係ない」と言った。そこは上の人間で、市長も、教育長もしっかり取り組んでもらわないと困るのでお願いする。
教育長	今回の場合は、室戸高校を少しでも利用できれば、予算の負担が軽減になると持ってこられている。議論は２年前に終わっている。
委員	６月の段階でそれを沈められなかったから、こうなっている。
委員	向こうの意見が変わって、向こうが受け入れることができますよと言われてしまったから、こういうことになったのではないか。 その当時にどうして県からだめと言われたのですか、まで話をしてもらいたかった。
委員	６月の時点で僕たちはこういう考えと言えていたら済んだ話では。
委員	前回、県教委から無理ですと言われたので、新築移転の話が進んでいる。それをなぜ今県教委がひっくり返すのですか、もきちんと話をしてもらわないといけなかった。
教育長	提案が正式にあった段階では、明確に資料も示して説明をしている。ただ、議員のそれぞれの思いでご意見をいただいているので、私たちはその部分は分からない。県の教育委員会から示されているので、過去こういうものがあったが、示している教室を今後使えるならどのような形で使えるのかの協議はしていきたい。
委員	何年か前の協議内容を私たちに提示してくれていないからいけないのでは。
委員	それもあるが、６月の段階で、いろんな人から言われた時に、今まで協議していたと、県教委からもそれをちゃんと言ってもらえるような段階になっていなかったということは、県教委も議員に言われたら議会軽視になるから動かざるを得ない部分もあるとは思う。そこの段階で、教員や保護者と室戸高校と話をしてちゃんとできていた。難しいという事を見せないと今後、議論をもう一回した時にちゃんと見せられるようにしておかないといけないというお願い。
教育長	第４回で過去の協議はお示ししている。今回は新たに、今示されている教室の使い方の方になっていく。

委員	教室の話、市も初めは子どものことを考えていない図面、それもただ当てはめただけですと。それを今回は、市の教育委員会が県に対して４階に詰め込まれてと言った。県の関係者に聞いたら、とりあえずそこに入れて示しただけで、あとはどうでもなるとは聞いたが。
教育長	別の場所に建てると市長は判断している。
委員	県議から初めに聞いたのは、室戸高校自体存続の危機と聞いた。そんなことも知らず、これは困ると思った。誰か全体を見て一番良い方向性を単独ではなく皆で考えていかないといけない。 ある程度話も進んでいたのに、こんな可能性もでてきた。それなら小中で統合してもらいたい意見もあるし、統合に決めた時点で話し合いがされていないからこういうことになるということ。
委員	遡って議論がずっとできていないから仕方ない。言い訳はできない。こういうことになって教員も保護者も振り回すような状態になった。攻めたくはないが。結局、議論がきちんとできていないからこういうことになってしまっているので、今回は、しっかり議論をするように。議会軽視や政治等にも流されずにしっかり対応できるようなやり方を取ってもらわないと今後もまたこうなる。しっかりお願いしたい。
学校教育課長	統合中学校のことで、新聞等に悪く載るのは嫌、せっかく子どものために作っている中学校が、こういうことで議会に反対されたり、これを市民が見た時に市の教育委員会がどうしているのかという意見もでていると思う。ちゃんと協議して進めるようにと。そこに応えるために、今回こういう事態が出てきたので、きちんと県教委と協議をして、それを市議会にも説明して、市民にもして、今後こうした議論が起きないようにしていく考え。
委員	現地視察をして意見交換会をするとなっているが、中学校が４階に詰め込まれるというところの話をするのか。
学校教育課長	県教委から提案されている場所を見て、これが統合中学校でやっていけるのかというところを意見交換する。
委員	教室だけでなく、グラウンド等もか。
学校教育課長	提案されているところは全て見る。
委員	増築なのか、今までの所に入るのか。
学校教育課長	室戸高校の施設の中を県教委が提案をしてきている。
委員	多分総意でなぜと思っている。それ以上に事務局側がなぜと思っていると思う。まじめにやろうとしていて、良い感じに進んでいて、僕らに言いたくないのに言って、怒りながら抑えながら、分かっている人も分かっていない人も。事務局の意見は言えないことが多いと思いますが、挟まれてかなり不満がたまっているのではないか。
教育長	新築移転は確定。市長も議会で説明しているので、確定。室戸高校の提示されている部分を使えるかというところ。
委員	そんなニュアンスではなかった。新築移転は、一旦白紙に戻して、室戸高校に合併する、中学校の生徒を全部入れるという話では。
委員	中高一貫校になると県議から聞いた。
学校教育課長	中高一貫校ではない。
委員	県立室戸高校の中に、室戸市立中学校が入るという話ですよね。
学校教育課長	それが、県教委の提案で、それができるかというところを協議するということ。

委員	新築の中学校は一旦ストップがかかっているということですよね。並行して進んでいる話ではないですよね。教育長きちっと理解しておいてください。そこ、間違えていたら全然話違う。
教育長	室戸高校に入るというのはとてもできない。
委員	県教委ができますと言ったから、こうなっている。
教育長	できますではなくて、こういうところが開いているので使えますというのが、元々の県教委のスタンス。
委員	結局、市議や県議は室高に入れる考えになっているではないか。入れるという事は新築移転はなくなるということですよね。
教育長	入るのは不可能。
委員	それは教育長の考えで、市議さん達の考えは、室高に入れるなら、入れたら良いという考え。
学校教育課長	市会議員からは、室高に中学校入れる考えもあるのでは、施設整備の方向性の変更が必要だという意見。そこに対して本当にそれが使えるのかを協議して、結果を議員に説明するということになる。
委員	先に議員に言ってもらいたいことが、今まで散々地域でも説明会をやってきて、そこへ出てきてなくて、詳しい話を聞いてなくて、今更そんな話を出してくるのかと言いたい。地域説明会の時にどうしてその意見を出してくれなかったのかと言いたい。
委員長	最終、いくら知恵を出してくれても行政が頑張っても、議会制民主主義では、決めるのは議場、議員。考え方を変えるのは難しいが、それをやらないことにはなんともならない。
委員	統合して新築移転するのは、議員が決めたわけではないのか。
学校教育課長	議会が統合すると決めたのではなく、室戸市が方向性を出している。それに向けて取り組みを進めるために、予算も議会上げて判断を仰ぐことになる。
委員	統合は決定されていないという事か。
学校教育課長	統合の方針は、市として決めた。
委員	議会で決めているのか。
学校教育課長	議会での承認はいらない。
委員	議会の人たちはチェックする人達、今まで方針を立てて、そのための調査とかの予算出したら全部 OK と言われていたのに、今回、じゃあ動きますよとなって大きな予算を上げたら待ちなさいと言われた。 今までうんうんと言っていたのに、いきなり金額だけを見ておいおいという反応を示したのが今回。
委員	逆に言うと、今まで議員は何をしていたのかという話。散々説明会もやってきたのにその話を聞かなくて、全部通しておいて今更ストップかけるというのは、今まで議員は何をしていたのかという話。
委員	それを意見として出して欲しい。
委員	言いにくかったら代表として行く。地域説明会の時どうしてその意見を言わなかったのかと。
教育長	市議会議員の予算を決めるというご判断。
委員	本来、議員が予算を OK と出す前に、そういうに進んでいることを把握していたら、今ここでこういうもめ事は絶対起きていない。
委員	室戸高校との協議はどんな話をしていたのか。どうしてそれを提示してこういう理由で前回もお断りされたのでと説明できなかったのか。

髙﨑班長	令和３年時点で、県の教育委員会に当時の担当課長と補佐と自分が県教委に行って、最初に考えたのは費用を抑えながら中学校の移転を考えていたので、室高の空き教室を使わせてもらえないかと言う話を持ち掛けて、施設の担当は「ぜひ使えるなら使ってください。ただ、高校側とあとは詰めてください」との話だったため、２回目以降室高側と話をして、空き教室が少ないので、足りない分は増築も考えたが、それでも体育館やグラウンドは中学校と高校が共有といった問題がでてきて、中学生の環境としてよろしくないという事で、室戸市側から共用は難しいと回答をしたかたち。さっきの話にありましたが、県教委に断られたわけではない。費用を抑えようとして、高校を使おうとしていたが、色々な情報がでてきて難しいと判断をした。最初からこちらが突っぱねたり、県教委が断ったわけではないという事は、ご理解いただきたい。
委員	統合中学校をつくること 100％は難しいですよね。統合中学校をつくるというような発言をしていたが。
教育長	教育委員会で決めて、市長もやりますということは決定。あとは、教室の使い方というところ。
委員	言い切って大丈夫なのか。
委員	新築移転をすると決まっているなら、逆に言うと室高に行って協議する必要性がどこにあるのか。
学校教育課長	室高の協議というのは、今回議会が出した修正動議の提案理由の中にしっかり協議をしなさいというところがあるので、そこは協議をする必要がある。
委員	選択肢として、この先、新築として統合する方向なのか。それとも室戸高校に一緒になる可能性があるのか。現状に残る可能性があるのか。
教育長	まったくありません。新築の移転。それは確定。あとは県が示している教室の使い方が使えるならどのような使い方があるかということ。
委員	新築統合中学校という事は決まっているという事か。
教育長	確定。決まっている。
委員長	決まっているけど、議会で否決されたので止まっているわけ。事業を進めるのは市だが、予算を承認するのは議会で、市民ではないので、ずいぶんご苦労されると思いますが、４対７で反対、それが変わらない限りは予算執行できない。建つものが建たない。
委員	議員と教育委員会で話しても平行線。議員の考えを変えるためには市民の声がきちんと聞こえていないと話にならないと思う。そこの話し合いの場がなかった。本来なら地域説明会の時に議員が来て、地元の人間がどういう意見を持っているかを聞いてもらっていたら、今現在こういうストップがかかることはなかった。実際来ていた議員は私が知る限り２人、他の地区は知らないが。その二人が反対に入っているので、その時の説明会何を聞いていたのかと思う。どういう風に先のことを考えて反対しているのか一番の問題点。
委員	議員にここに来てもらったらいい。
委員	ある議員は来たいと言っていた。僕は反対しているわけではない。議論できていなかったという印象だと思う。さっきから教育長ふわふわしすぎと思う。
教育長	この会は、議員に来ていただいて聞きたいというなら聞いていただいてかまわない。

委員	呼んで話を聞いてもらうのが、手っ取り早い。保護者側の意見としてはこういう意見があるというのを具体的に聞いてもらわないと、今の議員はっきり言って学校に通っている子どもをかけているわけではない。そこが分からない人が議会だけで話されても自分達からしたら納得いかない。
学校教育課長	この状況ですので、今後、しっかり県教委と協議をして議会、市民への説明をしっかりやっていきますので、よろしくお願いします。